

令和3年度大垣市環境審議会第1回会議 会議録

1 と き 令和3年10月7日（木）14:00～15:30

2 ところ 大垣市役所4階 情報会議室

3 議 題

- (1) 令和2年度環境分野の個別計画の実績報告について
 - ① 大垣市エコ水都環境プラン実績報告2020について
 - ② 大垣市第3次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）実績報告2020について
 - ③ 大垣市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）実績報告2020について
 - ④ 大垣市新エネルギービジョン実績報告2020について
 - ⑤ 大垣市第2次生活排水対策推進計画（大垣地域編）実績報告2020について
 - ⑥ 大垣市生活排水対策推進計画（上石津地域編）実績報告2020について
- (2) 大垣市第4次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の変更について
 - ① 大垣市第4次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の変更について

4 出席者（敬称略）

（委員） 12名

永瀬 久光	後藤 文夫	小林 信介	横井 香織	福井 康弘
豊田 充子	三輪 正直	加藤 耕司	山本 浩星	澤藤 成人
浅野 純一	中村 佐和子			

（市事務局） 6名

生活環境部長	加藤 誠
生活環境部環境衛生課長	酒井 敏政
生活環境部環境衛生課主幹	小川 哲司
生活環境部環境衛生課主幹	森井 信悟
生活環境部環境衛生課主事	久保山 理紗子
生活環境部環境衛生課主事	竹中 翔一

5 欠席者（敬称略）

市川 琴実

6 傍聴者（敬称略）

●● ●●

7 報道関係者

●● ●●

8 発言要約

発言者	発言内容
(1) 開会	
酒 井 環境衛生課長	皆さん、こんにちは。 本日は、大変お忙しいところ、令和3年度大垣市環境審議会の第1回会議にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。 私は、本日の司会を務めさせていただきます、大垣市環境衛生課長の酒井でございます。どうぞよろしくお願いいたします。 皆さんには、審議会委員の任期満了に伴い、引き続き、また、新たにご就任いただき、誠にありがとうございました。 お手元に委嘱状をお配りさせていただいておりますので、よろしくお願いいたします。 また、お手元の会議次第を1ページめくっていただき、委員名簿により、今回、新たにご就任いただいた皆さんをご紹介します。 はじめに、大垣市小中学校校長会教科顧問で、大垣市立中川小学校長の福井委員さんです。 次に、大垣市地下水対策会議会長の澤藤委員さんです。 次に、大垣市女性団体懇話会の豊田委員さんです。 次に、市民公募にてご就任いただきました、浅野委員さんです。 同じく、中村委員さんです。 以上5人の方が、新しい委員の皆さんです。 また、審議会の会長には、引き続き、岐阜医療科学大学の永瀬委員さんに、副会長には、後藤委員さんをお願いいたしたいと存じます。 なお、本日の会議でございますが、市川委員さんから欠席のご連絡をいただいております。
(2) あいさつ	
酒 井 環境衛生課長	次に、永瀬会長さんより、ごあいさつをいただきます。
永 瀬 会 長	皆さん、こんにちは。 会長を務めさせていただいております永瀬と申します。よろしくお願いいたします。 本日はお忙しい中、大垣市環境審議会にお集まりいただき、誠にありがとうございます。

	当審議会は、平成19年7月に施行されました大垣市環境基本条例に基づき、環境基本計画等の策定にあたり諮問機関として発足し、良好な環境の保全と持続的発展が可能な社会の創出に向けて、様々なご意見をいただいてまいりました。 本日の会議では、エコ水都環境プラン等、環境分野の個別計画の昨年度の実績報告をいただきまして、地球温暖化対策実行計画の事務事業編の変更についてご審議いただきます。 本日の審議会が有益なものとなりますよう、委員の皆さまから活発なご意見を賜りますよう申し上げ、ごあいさつとさせていただきます。 よろしくお願いいたします。
酒 井 環境衛生課長	それでは、議事に入りたいと存じます。 ここからは、永瀬会長さんに進行をお願いいたします。
永 瀬 会 長	それでは、議事を進行させていただきます。 本日の会議につきましては、個人情報に関する事項がないため、公開とさせていただきます。 本日、●●の●● ●●さんから傍聴の申し出がございましたので、許可したいと存じますが、よろしいでしょうか。
委 員	<異議なし>
永 瀬 会 長	それでは、皆様同意ということで傍聴を許可したいと思います。 次に、本日の会議録署名者について、私から指名させていただきます。 福井委員さんと加藤委員さんをお願いいたします。よろしくお願いいたします。
(3) 令和2年度環境分野の個別計画の実績報告について	
永 瀬 会 長	それでは、議事に移らせていただきます。 議題の(1)「令和2年度環境分野の個別計画の実績報告について」、事務局から一括して説明をお願いいたします。
森 井 環境衛生課 主 幹	皆さん、こんにちは。 環境衛生課の森井でございます。よろしくお願いいたします。 着座にて説明をさせていただきます。 報告は、お手元の次第資料の各計画「実績報告の概要」にてご説明させていただきます。 また、別添資料としてお配りしております、カラー表紙の各計画の「実績報告書」には、詳細な実施状況等を記載しておりますので、後ほど、お

目通しいただければと存じます。

それでは、次第資料の1ページ、資料№1「大垣市エコ水都環境プラン実績報告2020の概要について」をお願いいたします。

計画の概要でございますが、趣旨につきまして、大垣市未来ビジョン基本構想の施策のひとつであります、みんなが安心するまちづくりの実現を目指して、本市の環境施策の総合的かつ計画的な推進を図るものでございます。

計画期間は平成30年度から令和9年度までの10年間で、望ましい環境像を「ハリンコが泳ぎ、ホテルが舞う水都・大垣」とし、「暮らしを変えて、未来に夢を」を合言葉に、展開する目標や推進施策を示しております。

この計画には、1ページから3ページにございますように、5つの基本目標があります。また、それぞれに個別目標指標、26指標を設定しております。

また、3、4ページにございますように、5つの基本目標を推進するための26の施策があり、この施策に即した市の事業、132事業を展開しております。

資料の5ページにまいりまして、評価は計画の施策及び事業について、PDCAを活用したマネジメントシステムに基づき、継続的な見直しや改善に取り組むため、毎年、実施状況を評価し、進行管理を行いました。

実績報告させていただきます各計画ともに、評価の方法を統一しまして、表の左側「施策評価」につきまして、個別の指標ごとに、令和2年度の実績値を進捗目標値と比較し、その達成度の割合に応じてAからEの5段階で評価しております。

また、表の右側「事業評価」につきましては、基本目標を推進するための施策に即した市各部局の事業につきまして、令和2年度の事業の実施状況に応じ、実施した「A」から未実施「D」までの4段階で評価をしております。

6から9ページが、本計画の施策評価の結果でございます。

5つの基本目標に基づく26の個別指標につきまして、平成28年度の基準値に対し令和2年度の進捗目標値、実績数値、達成度評価を示しております。

令和2年度の評価は、A評価が16項目、B評価が6項目、D評価が2項目、E評価が2項目という結果でございました。

実績評価の悪かったものにつきましては、7ページの基本目標2、No.1「公共施設（浄化センター、市民病院除く）の温室効果ガス排出量」がD評価となっております。

温室効果ガス排出量の総量は、基準年度よりも削減されておりますが、目標値までには至らなかったためD評価となっております。

これにつきましては、新型コロナウイルス感染症対策のため、換気を行いながら、冷暖房を使用したため、各施設とも電気使用量が通常よりも増加したことが原因と考えられます。

今後とも施設におきまして、省エネ活動や新エネルギー、省エネルギー設備の導入などに取り組んで改善を図ってまいります。

続きまして、10ページをご覧くださいと思います。

10ページの1番上のNo.1、環境学習会、出前講座開催数、その下のNo.2、環境イベントの開催数、環境美化活動参加者数がE評価となっております。

これらも新型コロナウイルスの影響があり、イベント並びに講座などが開催できなかったことが多く、参加数などが激減したことによるものでございます。

新型コロナウイルスの影響は、まだまだ不安定な部分がありますが、例えば本年3月には、例年行われております大垣市環境市民フェスティバルという体験型学習会を、パネル展示やWEBを活用した発信手法に変えて、「おおがきSDGsストリート」という新たなイベントを開催するなど、工夫をしております。

今後とも、ウィズコロナを見据えてできる形で推進してまいります。

次に事業評価につきましては、132事業のうち127事業が実施済みでA評価、5事業が未実施でD評価でございました。D評価の5事業につきましては、体験学習会など、新型コロナウイルスの影響のため中止となった事業でございます。

各事業の実施状況の詳細につきましては、お手元別添資料No.1、黄緑色の「実績報告書」にまとめておりますので、お目通しをお願いいたします。

引き続き、望ましい環境像の実現に向けまして、適切な事業実施に努めてまいります。

以上が、大垣市エコ水都環境プラン実績報告2020についての説明でございます。

引き続き、私のほうから次第資料の11ページ、資料No.2「大垣市第3次地球温暖化対策実行計画、事務事業編、実績報告2020の概要について」をご説明させていただきます。

計画の概要でございますが、趣旨につきましては、市役所自らが事業者、消費者の立場で、環境保全に向けた行動を率先して実施し、環境負荷の低減を図るとともに、市民、事業者の行う地球温暖化防止対策に配慮した自主的な取り組みを促進するものでございます。

期間は平成28年度から令和2年度までの5年間でございます。

昨年度委員の皆様方にご審議いただいて、令和3年から令和7年を計画期間とする新たな第4次計画を策定したところですが、今回は令和2年度の実績ということでございますので、前計画の第3次計画における実績を報告させていただきます。

計画の基本目標として、11ページの表にございますように、市が行う事務事業から発生する温室効果ガスの排出量を二酸化炭素量に換算し、排出削減率を目標数値として示しております。

市の各施設では、5.0%以上の削減、浄化センター、市民病院はそれぞれ原単位で1.3%以上と1.0%以上の削減、協働分として、クリーンセンターでの一般廃棄物の焼却並びに浄化センターの下水処理に伴い排出されるガスは、5.0%以上の削減としております。

協働分につきましては、一般廃棄物に含まれる廃プラスチックや合成繊維を焼却することによって発生する二酸化炭素や、浄化センターで下水を処理するときに発生するメタンなどの温室効果ガスの排出量のことでございます。

これらは、市民の皆様との連携や協働によって減少することができるものでございますので、別に協働分として目標を掲げているものでございます。

12ページにまいりまして、市の行う事務事業から発生する温室効果ガスの削減を図るために、6つの推進施策を設定し、19の推進項目に取り組むこととしております。

13ページにまいりまして、評価につきましては、先ほどの計画と同様、PDCAマネジメントシステムにより、実施状況を評価し、進行管理を行いました。

16ページが施策評価の結果でございます。

平成26年度の基準値に対し、令和2年度までの各年度の進捗目標値、実

績値、達成度評価を示しております。

令和2年度につきましては、各施設では3.5%の削減となりD評価、浄化センターは8.1%削減、市民病院は13.8%削減となりA評価、協働分は7.7%削減となりA評価でございました。

各施設及び協働分の評価が良くなかったのは、先程の計画でご報告したとおり、新型コロナウイルスの影響で、換気を行いながら冷暖房を使用したことにより、各施設で電気使用量が増加したことが原因と考えられます。

今後も、施設等更新時における新エネルギー、省エネルギー施設の導入や日常事業における省エネ活動に積極的に取り組んでまいります。

次に、15ページの事業評価につきましては、34事業すべて実施済みで、A評価となっております。

各事業の実施状況の詳細につきましては、別添資料No.2、水色の「実績報告書」に記載させていただいておりますので、後ほど、お目通しいただければと存じます。

引き続き、温室効果ガスの排出削減に向け、適切な事業実施に努めてまいります。

以上が、大垣市第3次地球温暖化対策実行計画、事務事業編、実績報告2020についての説明でございます。

続きまして、次第資料の17ページ、資料No.3「大垣市地球温暖化対策実行計画、区域施策編、実績報告2020の概要について」をお願いいたします。

計画の概要でございますが、市をはじめ、市民や事業所等との協働により、温室効果ガス削減を全市的に推進するものでございます。

計画期間は平成29年度から令和32年度までの34年間で、市域の温室効果ガス排出量削減目標として、それぞれ短期、中期、長期の削減目標がございます。

市域の温室効果ガス排出量の実績につきましては、各種統計調査などの結果を用いて算定しておりますので、最新データでも平成30年度の実績となっておりますが、基準年度比で、16.9%削減となり、短期目標を超える削減結果となっております。

基本方針には、5つの施策分野があり、18、19ページにございますように、それぞれに、個別目標指標、16指標を設けております。

また、19、20ページにございますように、5つの施策分野を推進するた

めの21施策があり、この施策に即した市の事業、55事業を展開しております。

21ページにまいりまして、評価につきましては、他の計画と同様、PDCAマネジメントシステムにより、実施状況を評価し、進行管理を行っております。

22から24ページが、施策評価の結果でございます。

5つの施策分野に基づく16の目標指標につきまして、平成27年度の基準値と令和2年度までの進捗目標値、実績数値、達成度評価を示しております。

令和2年度の評価は、A評価が9施策、B評価が5施策、D評価が1施策、E評価が1施策でございます。

実績評価の悪かったものにつきましては、まず、22ページのNo.1、地中熱ヒートポンプの導入件数がE評価となっております。

これは令和2年度におきまして、公共施設につきましては、該当する施設の新築や改築などが行われませんでした。

また、民間の導入につきましても、国の補助金、さらに市の補助制度を設け、情報提供などをおこなってございましたが、設備導入まで至った案件がなかったためでございます。

地中熱ヒートポンプは、大垣市の豊富な地下水の未利用エネルギーを有効活用する設備でございますので、今後とも積極的な導入を推進してまいります。

次に24ページの施策分野5のNo.2、環境に関する講演会や出前講座の開催数がE評価となっております。

これは、これまでもご報告させていただいたとおり、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、イベントや講座などが開催できなかったことによるものでございます。

次に、事業評価につきましては、55事業のうち54事業が実施済みで、A評価、1事業が未実施でD評価となっております。

D評価の事業につきましては、新型コロナウイルスの影響により、事業が中止となったものでございます。

各事業の実施状況の詳細につきましては、別添資料No.3、紫色の「実績報告書」に記載させていただいておりますので、後ほど、お目通しいただければと存じます。

引き続き、市域の温室効果ガス排出量削減に向け、適切な事業実施に努

めてまいります。

以上が、大垣市地球温暖化対策実行計画、区域施策編、実績報告2020についての説明でございます。

続きまして、次第資料の25ページ、資料No.4「大垣市新エネルギービジョン実績報告2020の概要について」をお願いいたします。

計画の概要でございますが、趣旨につきましては、新エネルギー導入、省エネルギー対策の可能性を調査した上で、効果的にこれらを普及させるとともに、地域活性化にもつながる取り組みの具体案を見出すものでございます。

期間は平成26年度から令和12年度までの17年間で、計画の将来像は「水と緑の恵みを生かした水都スマートシティ・おおがき」でございます。

基本方針は、4つで、目標指標として、①省エネ対策後消費量、②新エネルギー導入量、③エネルギー自給率を掲げております。

また、26ページにございますように、4つの基本方針を推進するため、11の施策があり、この施策に即した市の事業、11事業を展開しております。

27ページにまいりまして、評価につきましては、他の計画と同様、PDCAマネジメントシステムにより、実施状況を評価するとともに、進捗管理を行っております。

28ページが、施策評価の結果でございます。

3つの指標につきまして、平成22年度の基準値と令和2年度までの進捗目標値、実績数値、達成度評価を示しております。

令和2年度の評価は、B評価が1指標、E評価が2指標でございました。

E評価となったものにつきましては、No.2「新エネルギー導入量」とNo.3「エネルギー自給率」の連動した2項目で、これは、このビジョンを策定する平成26年度に実施した「新エネルギーの導入可能性調査」の結果と比較して、太陽熱利用や風力発電の普及が進んでいないことによるものでございます。

今後とも、新エネルギー、省エネルギー設備については、公共施設への率先導入を進めるとともに、民間への普及啓発のため、機器設置に対する補助制度などを展開してまいります。

次に、事業評価につきましては、11事業すべて実施済みで、A評価となっております。

各事業の実施状況の詳細につきましては、別添資料No.4、薄いオレンジ

	色の「実績報告書」に記載させていただいておりますので、後ほど、お目通しいただければと存じます。 引き続き、本市が目指すエネルギー政策の将来像の実現のため、適切な事業実施に努めてまいります。 以上が、大垣市新エネルギービジョン実績報告2020についての説明でございます。
小川 環境衛生課 主 幹	環境衛生課の小川と申します。どうぞよろしくお願いいたします。 失礼して、着座にてご説明させていただきます。 それでは、お手元の次第資料の29ページ、資料No.5をご覧いただきたいと存じます。 「大垣市第2次生活排水対策推進計画、大垣地域編、実績報告2020の概要について」でございます。 計画の概要でございますが、趣旨につきましては、市民の協力のもと総合的、計画的に生活排水対策を推進し、生活排水による水質汚濁の防止を図るものでございます。 期間は平成27年度から令和16年度までの20年間で、基本理念は「水の潤いのあふれるまち」でございます。 基本方針は、2つで、①健全な水循環の促進と、②水文化を守る環境にやさしい暮らし方の促進でございます。 基本目標は、2つで、①生活排水処理率100%と、②水門川及び杭瀬川における水質環境基準の維持達成とするものでございます。 資料の30ページにまいりまして、推進施策は、3つで、①下水道の整備・接続の促進、②合併処理浄化槽への転換・普及促進、③水環境に関する意識の高揚でございます。 資料の31ページにまいりまして、評価につきましては、他の計画と同様、PDCAマネジメントシステムにより、実施状況を評価するとともに、進行管理を行いました。 資料の33ページにまいりまして、事業評価につきましては、6つの事業に対して、すべての事業を実施しており、A評価となっております。 引き続き、生活排水対策の推進に努め、生活排水による水質汚濁の防止を図ってまいります。 なお、詳細な実施報告につきましては、別添資料No.5、クリーム色の「実績報告書」にまとめておりますので、お目通しをお願いいたします。 以上が、大垣市第2次生活排水対策推進計画、大垣地域編、実績報告

	2020についての説明でございます。 次に、お手元の次第資料の35ページ、資料No.6をご覧くださいと存じます。 「大垣市生活排水対策推進計画、上石津地域編、実績報告2020の概要について」でございます。 計画の概要でございますが、趣旨につきましては、市民の協力のもと総合的、計画的に生活排水対策を推進し、生活排水による水質汚濁の防止を図るものでございます。 期間は平成13年度から令和2年度までの20年間で、基本理念は「全国に誇ることができる水のまち」でございます。 基本方針は、2つで、①生活排水処理施設の整備・促進と、②生活排水対策の普及促進でございます。 基本目標は、2つで、①生活排水処理率100%と、②牧田川における水質環境基準の維持達成とするものでございます。 資料の36ページにまいりまして、推進施策は、3つで、①生活排水処理施設の整備・接続の促進、②合併処理浄化槽への転換・普及促進、③水環境に関する意識の高揚でございます。 資料の37ページにまいりまして、評価につきましては、他の計画と同様、PDCAマネジメントシステムにより、実施状況を評価するとともに、進行管理を行いました。 資料の39ページにまいりまして、事業評価につきましては、6つの事業に対して、すべての事業を実施しており、A評価となっております。 引き続き、生活排水対策の推進に努め、生活排水による水質汚濁の防止を図ってまいります。 なお、詳細な実施報告につきましては、別添資料No.6、オレンジ色の「実績報告書」にまとめておりますので、お目通しをお願いいたします。 以上が、大垣市生活排水対策推進計画、上石津地域編、実績報告2020についての説明でございます。 これで、議題の(1)令和2年度環境分野の個別計画の実績報告について、のご説明を終わらせていただきます。よろしくお願いいたします。
永瀬会長	ありがとうございました。事務局から資料のご説明をいただきましたが、ご質問ご意見等ございましたらご発言をお願いいたします。
永瀬会長	私から7ページ、公共施設からの二酸化炭素排出量がD評価というところですが、説明では、コロナで換気しながらの冷暖房使用ということであ

	りましたが、実績値は下がってはいるので、コロナがなければC評価やB評価になっていたということでしょうか。
加藤 生活環境部長	おそらくC評価になったと思います。
永瀬 会長	市民病院の成績が良いようですが、これは何か理由があるのでしょうか。コロナの影響もあると思うのですが。
加藤 生活環境部長	市民病院のボイラーの設備更新があったため、その分効果があったと考えられます。
永瀬 会長	各委員の皆さんから何かありますか。
小林 委員	7ページの話ですが、全部の評価は、令和3年、令和4年の目標値が書いてありますが、どこから出した数値でしょうか。
加藤 生活環境部長	目標につきましては、目標年度を決めておりまして、例えば7ページにありますと、その前の3ページをご覧くださいと、基準値が平成28年となっており、目標が令和4年度となっております。 令和4年度までの間で、この数値になるように年数で割って目標値を出しております。
小林 委員	あと、わかりにくかったのが、7ページの(1)の令和3年度の目標値がいきなり上がって、令和4年はちょっと下がっているのはなぜでしょうか。
森井 環境衛生課主幹	こちらの数字は、大垣市の地球温暖化対策実行計画の事務事業編からとってきておりますが、昨年度皆様方に計画の見直しをしていただいて、令和2年度までは、第3次計画の目標値、令和3年度以降の数値は昨年度変更しました第4次計画の数値からとってきております。 第3次と第4次の大きな違いとして、対象とする施設数を増加しております。 第3次では、対象施設を限定して考えておりましたが、第4次では、市の管理施設全てに対象を広げましたので、その分温室効果ガス排出量の数値が上がっております。
小林 委員	目標の達成が難しい年と難しくない年があるのではないのでしょうか。
加藤 生活環境部長	施設数が増えるので、全体に使う量は増えますが、目標とあわせて、実績の数値も上がってまいりますので、全体の数値も増えるというイメージでお願いしたいと思います。
小林 委員	他のところも令和2年度と令和3年度で数値のばらつきがあるところが散見されますが、今のご説明のように3次と4次で目標基準が変わっているから、数値が変わっているという理解でよろしいでしょうか。

加 藤 生活環境部長	昨年度に計画を策定しました地球温暖化対策実行計画事務事業編、生活排水対策の上石津地域編、こちらも昨年度の審議会でご審議いただき計画を策定しました。その結果変わっております。 また、一般廃棄物基本計画も目標数値が変更となっておりますので、その分はこの計画にも反映されている部分がございます。
小 林 委 員	なんらかの改定があつてそれが反映されているので、この数値になっているということですね。 逆に1人当たりのごみ排出量はなぜ増えているのでしょうか。
加 藤 生活環境部長	1人あたりのごみの排出量ですが、エコ水都環境プランは全ての計画を網羅する環境基本計画でございますので、家庭ごみのことも出てくるのですが、ごみの処理につきましては、一般廃棄物の処理基本計画にも位置付けられております。 ごみの排出量は年々増加傾向であるということもございます。
小 林 委 員	そもそもなぜ高くなっているのでしょうか。 例えば、プラスチックのごみは減っていると思います。 リサイクル率が上がり、ますます減る方向に行くのではないかと思ったのですが、実際はそうでなかったということでしょうか。
加 藤 生活環境部長	廃棄物については、ごみプラスチックも含めたごみの量でございます。 市の方で処理する分という形になりますので、リサイクルに使うもの、焼却に回すものすべてのごみの排出量という形で、排出のことだけを考えれば増えているということになります。
小 林 委 員	リサイクルするものも込みでということですね。
加 藤 生活環境部長	その通りでございます。
小 林 委 員	28ページの新エネの導入のところで、普及が進んでない、今後導入していきたいという話をされていたと思います。 導入が進んでいないことに危機感を持つので、あえてお聞きしますが、このままだとずっとE評価だと思います。 それはよろしくないと思うのですが、導入が進んでない理由というのは何でしょうか。
加 藤 生活環境部長	再エネの導入も含めてでございますが、やはりコストの部分が大きく、市の公共施設につきましては、去年からゼロカーボンということで、二酸化炭素排出量をゼロにするという目標を掲げましたので、市の方も再エネの導入についての戦略をつくっているところでございます。

	風力発電、太陽光発電についても、課題となりますのはコストでございます。 安くならないと民間のところで、導入が進まないということでございます。しかし、全く何もしないわけにもいきませんので、市の公共施設につきましては、積極的に導入するというようにしております。 昨年の新庁舎のように改築があるときは導入いただけるのですが、既存の施設につきましては、導入できる分としては、全ての小学校の校舎などで導入が進んでおりますが、問題はその後、太陽光は屋根に乗せますので、重量に耐えられるようにするための改築に非常にお金がかかるということもございます。 建物の増築、改築に合わせて、更新をしていくという方針のもとに進めていくと、2050年には全て再エネに変えるということにしていきたいと思います。 今申し上げましたとおり、太陽光発電につきましては、国がそういう方針を出されましたので、来年度以降は大幅に導入が進むであろうということでございます。 コストが下がれば、市の方も積極的に導入していきたいと思いますし、民間の各家庭や、大垣の場合は事業所が多数ありますので、再生可能エネルギーの導入を検討していただくようお願いしていくように取り組んでまいりたいと思います。
小 林 委 員	来年以降は、B評価かA評価くらいになっているということですね。
加 藤 生活環境部長	頑張って取り組んでまいりたいと思います。
永 瀬 会 長	他に何かありますでしょうか。
小 林 委 員	32ページと38ページの生活排水処理率のところ、目標としては100%ですが、実際は91%と書いてありますが、これはどこの部分が足りなくて9%足りないのでしょうか。
加 藤 生活環境部長	生活排水の処理率につきましては、基本的には下水に切り替えていくということでございます。 この38ページの方は、上石津地域の計画でございまして、下水道のハードな整備につきましては、管線までのところは終わっております。あとは、各家庭への引き込みの部分が進んでいないということでございます。これはもうお願いをしてまいるしかないのですが、この部分がなかなか進まないということでございます。あくまでも国の方は目標を100%にと言っ

	ておりますので、市としても100%を目標とせざるを得ないのですが、なかなか達成が難しい目標であるということは事実であります。 特定環境保全公共下水道、農業集落排水処理施設、小規模集合排水処理施設、合併処理浄化槽、この4つございますが、最低限合併処理浄化槽に変えていただくのは、下水道のエリアではないところでございます。 上石津地域につきましては、下水道の引き込みがないところ、少し離れたところにつきましては、主に合併処理浄化槽を使用させていただいております。合併処理浄化槽以外で単独処理浄化槽や汲み取りを使用している部分については9%くらいございますので、この皆様に切り替えをお願いしてまいるといことでございます。 空家など上石津地域には散見されるようになりまして、こういった部分が残っていつているのかなといことでございますが、こういう点も含めての目標でございます。
永瀬会長	小林先生の質問に加えまして、ということは、9%の数値は、未接続者ということですか。
加藤 生活環境部長	主にそういうことでございます。
永瀬会長	とても良い成績だと思います。
加藤 生活環境部長	大垣の街中に比べると、下水の配管が非常に広くまで行っておりますので、その分引き込みが、山間地域におきましては、特に優秀だと思います。 ただその分費用はかかっております。
永瀬会長	他に質問はありますか。 ありがとうございました。
永瀬会長	それでは、特にご発言もないようですので、議題の(1)につきましては、以上とさせていただきます。
(4) 大垣市第4次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の変更について	
永瀬会長	次に、議題の(2)「大垣市第4次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の変更について」事務局から説明をお願いいたします。
森井 環境衛生課 主幹	それでは、大垣市第4次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の変更について、ご説明させていただきます。 次第資料の41ページ、資料No.7をご覧くださいと存じます。 先ほど、同計画の第3次計画の実績報告をさせていただきました。昨年度は、第4次計画を策定したところでございます。

しかし、先ほどありましたように、昨年12月に本市は、2050年までに本市の二酸化炭素排出量を実質ゼロとするゼロカーボンシティおおがきの実現に向けて、市民や事業者の皆様と一体となって取り組むことを宣言させていただきました。

こうした中、岐阜県も同様に2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロとする脱炭素社会岐阜の実現を目指して本年5月、「岐阜県温室効果ガス排出抑制率先実行計画」を策定されました。この中には、温室効果ガス排出量削減のための具体的な取り組みや、非常に高い削減目標を定められたところでございます。

そのため、本市も市民や事業者などの模範となるよう、市が率先して温室効果ガス排出量削減に努め、ゼロカーボンシティおおがきの実現に向けて、計画の変更を行うことにいたしました。

主な変更内容は、温室効果ガス排出削減のための具体的な取り組み項目を新たに追加したこと、また、これらの取り組みを最大限実施することによって温室効果ガスの排出削減目標を変更しております。

変更部分につきましては、別添資料No.7、青色の「計画変更素案」を用いてご説明させていただきたいと思います。こちらの変更素案の中で、変更した箇所を朱書きしております。

また、次第資料の43～46ページには、計画変更素案の新旧対照表を記載させていただいておりますので、併せてご覧いただきたいと思います。

まず最初に、青色表紙の変更素案の3ページをご覧いただきたいと思います。第2節の目的のところに、朱書きで、「本市は、令和2年12月に、2050年までに本市の二酸化炭素排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボンシティおおがき」の実現に向け、市民や事業者等と一体となって取り組むことを宣言しており、脱炭素社会の構築を目指して、率先して温室効果ガス排出量の削減に努めます。」と昨年12月にゼロカーボンシティ宣言をした旨を追記しております。

続きまして、5ページをご覧ください。第3節、国内における温室効果ガス排出量の現状及び国の対応、こちらの項目に、「さらに、2020年10月、菅内閣総理大臣が2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、すなわち2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指すことを宣言しました。」と、国のゼロカーボンに向けた動向を追記させていただいております。

次に、温室効果ガスの排出削減目標の変更というところになりますが、

先に、「温室効果ガスの排出削減のための取り組み」に関する変更内容についてご説明させていただきますので、ページ少し飛びまして、青色表紙の資料32ページをご覧くださいと思います。

32ページ、第4章温室効果ガスの排出削減のための取り組み第1節取組項目及び推進項目(2)新エネルギー・省エネルギーの導入の項目に、新たに③として「再生可能エネルギー電力の導入」という項目を追加しております。

次に、具体的な取り組み事項の変更については、37ページをご覧くださいと存じます。第2節具体的な取り組み内容、取組項目2新エネルギー・省エネルギーの導入②省エネルギー設備の導入の項目に、施設の新增築を計画する場合は、消費エネルギー収支がゼロになるZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）の導入に関する項目を追加しております。

また、新たに追加した③再生可能エネルギー電力の導入には、「市有施設の電力については、2025年度までに使用電力の30%を再生可能エネルギー電力とし、2030年度までに再生可能エネルギー100%導入を図ります。」として、太陽光発電などによる、再生可能エネルギー電力の具体的な導入方針を追加させていただいております。

続きまして、39ページをご覧ください。⑤次世代自動車への更新、こちらは、もともとあった項目でございますが、新たに具体的な方針を追加しまして、「公用車等の更新時には、電気自動車（EV）、プラグインハイブリッド自動車（PHV）または燃料電池自動車（FCV）の環境負荷が低減される次世代自動車を選択し、2030年度までに市所有の全乗用車について次世代自動車への更新を図ります。なお、業務上求める仕様を満たす次世代自動車の対応車種がない場合は、ハイブリッド自動車（HV）等のできる限り環境負荷の低減される自動車を選択し、対応車種の次世代自動車が導入可能となり次第、順次、転換します。」と具体的な方針を追加しております。

これらの新たに追加しました、具体的な取り組み内容などを最大限実施することによって、温室効果ガスの排出削減目標を、これまでよりもより高い目標に変更しております。その目標値につきましては、27ページにお戻りください。

27ページには、第2節、目標指標の1、独自分に「「ゼロカーボンシティおおがき」の実現に向け、率先して温室効果ガスの排出量の削減に努めることにより」として、市の率先行動を示し、さらに、①市民病院及び浄化

センターを除く独自分につきましては、先ほどご説明した「第4章に記載する取組を最大限実施することを前提に、50%以上削減します。」という形に変更しております。こちらは、目標値を従来の5%以上削減から50%以上削減と高い目標値を設定しております。

また、具体的な取り組み事項としまして、再生可能エネルギー電力の導入や次世代自動車への転換につきまして、2030年度までの具体的な方針を新たに示しましたので、29ページの第3節目標指標一覧には、2030年度における将来目標指標を新たに示しております。

ここで、これら目標指標の算定根拠につきまして、次第資料の47ページをご覧くださいと存じます。ここには、基準年である2019年度の二酸化炭素排出量の発生源と発生量をグラフで示しております。ここに、主要な温室効果ガス排出削減の取り組みを最大限実施した場合の、二酸化炭素排出量の削減効果为目标年である、2025年度、2030年度について算定しております。

まず、(1)市有施設の徹底的な省エネ推進としまして、設備の運用改善や省エネルギー設備の導入などによって、市有施設の使用エネルギーを毎年1%以上低減し、その効果をグラフで青色で示しております。

次に、(2)再生可能エネルギー電力の導入として、2025年度までに全市有施設の使用電力の30%を再生可能エネルギー電力とし、2030年度までに100%再生可能エネルギー電力に切り替えることとしておりますので、その効果をオレンジ色で示しております。

次に、(3)次世代自動車への更新として、2030年度までに市所有全乗用車について次世代自動車に更新することとし、その効果を赤色で示しております。

これらの取り組みによる二酸化炭素排出量の削減効果を計算で算定することによって、各施設につきましては、2025年度に50%以上削減、2030年度に80%以上削減という目標を設定しております。

同様に、次第資料の48ページには、浄化センターと市民病院における取り組み効果のグラフを示しております。この2施設につきましては、再生可能エネルギー電力の導入は、2026年度以降を予定しております。これは、市の各施設を優先して導入してまいりますので、順番的に2026年度以降になり、その削減効果は、2030年度に現れております。そのため、このようなグラフになっております。

そのため、浄化センター、市民病院の目標指標につきましては、2025年

	度は、現計画と同様原単位5.0%以上を継続しまして、令和12年度の目標が、浄化センターでは原単位90%以上削減、市民病院では原単位25%以上削減という形になっております。 協働分につきましては、今後のプラスチックごみの減量化などでおおむね年1%の削減を目標とし、2030年度には10%以上削減という目標を設定しております。 以上が変更の内容でございますが、本審議会でご意見をいただきました後、パブリック・コメントの実施など、広く市民の皆さんのご意見を集約してまいりたいと存じます。計画変更に関する説明は以上でございます。
永瀬会長	ありがとうございます。ただいまのご説明に対して、ご意見、ご質問等ありましたら、お願いします。
山本委員	意見ではないのですが、42ページの変更スケジュールの区分のところですが、令和3年は、令和4年ではないですか。
加藤 生活環境部長	大変失礼いたしました。令和4年に訂正いたします。
永瀬会長	他に何かありますか。
小林委員	よくわからなかったのが、41ページの(2)の①省エネルギー設備の導入というところで、消費エネルギー収支がゼロになるネットゼロエネルギービルというのはどういうものですか。
加藤 生活環境部長	これは、国の方でいわれておりますゼロエネルギービルということで、ビルの中で賄う電力につきましては、すべてを再エネで賄うという設計をしていくということでございます。 これまでは、規定もございませんでしたので、それぞれ好きなように作っていたのですが、これから新しく壊し建て直す改築、新たに作る新築の建物につきましては、そういった方法でお願いしていきたいということでございます。
小林先生	エネルギー収支がゼロというのは、再エネで賄うという、そういう意味で書かれているのですね。
加藤 生活環境部長	そうでございます。基本的に一つの建物で発生する電気につきましては、その建物の中で賄うということで、ゼロエネルギービルディングと言われております。
小林委員	これを見ると意味がなかなかわかりにくかったです。あとで、説明されていたのですが、ちょっとよくわかりませんでした。
加藤	要約の仕方があまりよろしくなかったもので、本編に書いてあることでお

生活環境部長	願いたいと思います。
小 林 委 員	②もよくわからなかったのですが、市が再エネに変えるというのは、今のビルの話でビルに太陽光を付けるだったり、小学校に太陽光を付けるだったりという話で、つまり、循環はしないということですか。
加 藤 生活環境部長	基本的には、自己で学校等で太陽光を付けましたら、そのまま学校で使って、足りない場合は、最近ですと、中電等も再生可能エネルギーという形で販売をしておりますので、そういったものを購入して、再生可能エネルギーの100%、2030年度には、公共で使う電力を全て再生可能エネルギーにしていくと、そういうことでございます。
小 林 委 員	誰かが作った再エネを買ってくるという、そういう意味ですか。
加 藤 生活環境部長	そうでございます。基本的には自分のところで全部賄えない場合は、再生可能エネルギーを買ってきて、それで全部のエネルギーを賄うということでございます。
小 林 委 員	そういうことですね。たぶん皆さん使っていると思うので、今後どうなるのかなというのがありますね。 47ページで表を出されていますよね。2019年、2025年、2030年で二酸化炭素排出量というのは、上限がだいたい2万トンくらい、これでだんだん下げていくというイメージで書かれているのですが、実際にこうなるのですか。つまり、小学校が増えたり、減ったりする、病院が増えたり減ったりすると当然、上がったり下がったりするのではないのでしょうか。2019年、2025年、2030年でそもそも施設数が違うのではと思うのですが。
加 藤 生活環境部長	おっしゃる通りでございます。その議論もしたのですが、現段階で、2030年に施設がいくつ減っているかという想定はなかなか議論しづらいということもございまして、現施設のままだとしたりということで前置きをしております。施設の数が減っていれば、当然減ってまいりますので、それは当年度ごとに見直しをかけていきたいと思いますということでございます。
小 林 委 員	それならば、説明を書いておかないと違和感を覚えます。さらに、施設燃料というのが減っていませんが、そもそも施設燃料とは何か。2019年から変わってないのはなぜでしょうか。
加 藤 生活環境部長	施設燃料というのは、ボイラーの重油とか、そういったものでございまして、先も言いました市民病院等も設備の入れ替えがあれば、電力の消費は減っていくなど設備の更新があれば削減できますが、そういったことも今の段階では2030年にはないという前提にさせていただいておりますの

	で、なかなか減らないということでもあります。
小 林 委 員	ボイラーは代替できないということ、ボイラーを使っているだろうということ、熱源自体は、燃料に頼らざるを得ないだろうということですね。現在の状況と同じであろうということですね。
加 藤 生活環境部長	当然、去年の市民病院のように新しいボイラーに入れ替えるなど、設備の更新があれば、その分は省エネ分が増えることも見込まれますが、現段階ではまだわからないということで、現状のままということで算定しております。
小 林 委 員	分かりました。
永 瀬 会 長	他には質問ございませんでしょうか。
永 瀬 会 長	そもそもこんなにたくさん再エネ電力が手に入るのでしょうか。再エネというブランドの電気を電力会社は売っているのでしょうか。
加 藤 生活環境部長	再エネですと、普通の電気より1kWhあたり4円くらい高い料金で販売されております。
永 瀬 会 長	電気に色分けがされているのでしょうか。
加 藤 生活環境部長	そこは、発売元がそうおっしゃっていますので、それを購入することです。
永 瀬 会 長	発売元の言いなりということですね。
加 藤 生活環境部長	これが日本中に広がると、価格が大変なことになると思います。
永 瀬 会 長	大垣市が率先してやることで、各地域の自治体が一生懸命やるとなると、それだけでもものすごい量になる。そうすると、企業とかいろんなところに回るときにはまた値段が跳ね上がるのではないかと心配はするのですけれども。
加 藤 生活環境部長	ご心配のとおりだと思います。目標上、できるということをいっておりますけれども、この通りできるかは心配なところでございまして、現状1kWhあたり4円くらい上がると、施設全体で2億円くらい電気だけでプラスになってしまうということでございますので、今の電気と同じくらいの料金にならないと、なかなか財政的に難しいのではないかと考えております。
永 瀬 会 長	他にご意見やご質問はございますか。
中 村 委 員	中村と申します。このような会議に出たことがないので、的外れなお話しするかもしれませんが、今日、市民の代表という立場で出席させていただいておりますので、市民目線で伺いたいことがございます。

	青い冊子の29ページに目標指標一覧というものがあって、CO₂の削減目標があると思います。上に市独自分、下に協働分とあると思います。市独自のCO₂の発生量と協働分の発生量を比べた時に、協働分の方が明らかにすごく多いと思うのですが、いろいろお話をいただいた時に、協働分というのは、事業所分の説明だったと思っているのですが、ここの協働分を減らしていかないと全体の排出量というのは減らないと思って、ここをいかに減らしていくかという視点がすごく大事だと思います。 例えば、一例ですが、私は環境市民会議に関わらせていただいている、コンポスト、家庭でできる段ボールコンポストの取り組みを何年か前から家庭でしています。そのコンポストで取り組んでみると、家庭の生ごみが減ったりとか、たい肥化して、肥料に使いえたりとか、いろいろ効果があって、これはとてもいいなと一市民として感じています。 今年度から補助金がカットされてしまったりとか、とても残念なところがあるのですが、例えば、コンポスト活動のような各家庭で取り組めるものは、地道な活動ですが、一人ひとりの市民が参加できる活動ですし、私がとてもいいなと思っているのは、各家庭で取り組むことによって、その家庭の子どもたち、次の世代を担っていく子どもたちが環境を守るための活動に参加しているという意識を持てるということです。 実は、ある中学校へ環境学習の出前講座に行かせていただいたのですが、子どもたちにこういうふうにコンポストで生ごみを削減できるよ、それがCO₂の削減にとっても貢献しているよと話すと、そうなんだととても驚いてくれます。なので、例えばコンポストのような家庭で取り組めることに対する補助、環境教育というところをいかに増やしていくかというところをできればお願いしたいなと思いました。
加藤 藤 生活環境部長	ありがとうございます。一番最初に申し上げたと思いますが、地球温暖化計画の事務事業編は、大垣市役所の事務事業として、市役所が率先してこういったものを達成しようというものでございます。 もうひとつ、実績報告の時にありました地球温暖化計画の区域施策編というものがございまして、これは大垣市域の、市役所だけでなく、事業所や各家庭の全体で、温室効果ガスの排出量を削減していこうという計画でございます。2本柱になっておりまして、まずは市役所の目標として取り組んでいこうという話でございます。 協働分のお話しがございましたので、協働分につきましては、今ここで伺いましたように、コンポスト等でたい肥化することによってごみが減っ

	て、その分のエネルギー消費量が減るということも重々承知しております。こういったものも、区域施策編の方でやってまいりますし、別の審議会である一般廃棄物の審議会の方でも審議をいただいているところでございます。 コンポストにつきまして、各家庭で取り組んでいただいているところの補助金につきましては、今年度から見直しをさせていただきましたのは、今までは、コンポストにかかる資材の購入経費につきまして、一律の補助をしておりましたが、今年度からは、新しい皆さんにも取り組みをしていただきたい、横の広がりを作りたいということもございましたので、新規の方のみを対象にいたしました。財源的に増やすことはなかなか難しいので、リピーターの方はそれぞれまたお願いをするとして、新しく取り組まれる皆さんに補助を広げていきたいということで、制度の見直しをさせていただきました。 当然おっしゃっていただきました通り、家庭ごみの削減も非常に大きな目標でございますので、今年度は、木枠のコンポストというものを始めました。これは、家庭にございます草とか木といったものを木枠の中に入れて、たい肥化していくということです。 来年度以降になると思いますが、ダンボールコンポストだけではなく、靴に詰めるコンポストというのもございます。こういったものを普及させるために、家庭でコンポストをやった時にできあがったたい肥を、家庭菜園がないなど、使用できない家庭もあると思いますので、こういった家庭で使うあてがないものにつきましては、市の方で全部回収し、使っただけの方に回すという循環の窓口を考えたいと思っております。ということでございまして、コンポストにつきましては、利用者の幅を広げていきたいということで、先ほど、学校でのPRもお願いしているところでございますが、どんどん広げていただいて、生ごみを全てたい肥化するというようなことを、自分の家に庭がない、家庭菜園がない方にも取り組んでいただきまして、ゴミの量を削減いただくようなことを考えております。よろしくお願いいたします。
山 本 委 員	初歩的な話ですが、事務事業編の変更につきまして、改訂履歴はどのように書きますか。いつ変更になりますか。
加 藤 生活環境部長	最終的には先ほど説明しましたように、この後、パブリックコメントで意見をいただいた後に、来年の3月に改訂版ということで、変更後の成立を表記してまいりたいというところでございます。

山 本 委 員	いつ変更したということは表示しますか。
加 藤 生活環境部長	表紙等に表記しようと思います。
山 本 委 員	それはこの案の段階では出さないのですか。
加 藤 生活環境部長	案の段階では、まだ成立するかどうかわかりませんので表記しておりません。
山 本 委 員	成立するまでは明記しないということですね。
加 藤 生活環境部長	そうでございます。明記しておりませんが、基本的には来年3月に変更後、決定してまいりたいと思います。
永 瀬 会 長	ありがとうございます。他にご質問ご意見等ございますか。
(5) その他	
永 瀬 会 長	では、本日あげられました大垣市第4次地球温暖化対策実行計画事務事業編の変更については、この審議会の中では、特に変更なしということではよろしいでしょうか。 その他、何かございますか。
小 林 委 員	これを作るのも大変だと思うのですが、今から3月に出されるということで、その後どうなるのでしょうか。4次の計画はいつまでの話になるのでしょうか。
加 藤 生活環境部長	11ページに書いてございまして、4次の計画につきましては、昨年度改訂してございまして、令和3年度から令和7年度までの計画とさせていただきますので、この5年間の計画でございます。
永 瀬 会 長	それでは、特にご発言もないようですので、これをもちまして、議事を終了させていただきます。 それでは、事務局にお返しします。
(6) 閉 会	
酒 井 環境衛生課長	ありがとうございました。 なお、大垣市第4次地球温暖化対策実行計画、事務事業編の変更素案につきまして、改めてご意見等がございましたら、お手元の依頼文のとおり、お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、10月15日の金曜日までに、FAX、またはメールでご返信をお願いいたします。 頂戴したご意見等は、本日いただきましたご意見とともに、まとめさせていただき、計画の変更などが必要な場合は、会長と協議させていただきたいと存じます。 これをもちまして、本日の会議を終了させていただきます。

	本日はご出席賜り、誠にありがとうございました。
--	-------------------------

大垣市環境審議会

会 長 _____ 印

会議録署名者 _____ 印

会議録署名者 _____ 印